

2014年9月期 決算説明会

2014年12月1日 兜町平和ビル
株式会社CSSホールディングス

- | | |
|-------------|-------|
| ・ 連結業績 | 1～ 4 |
| ・ 各セグメントの業績 | 5～14 |
| ・ 今後の取り組み | 15～22 |



証券コード2304

連結業績

【会社名】	株式会社CSSホールディングス
【本社所在地】	東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号
【設立】	1984年(昭和59年)12月
【資本金】	393百万円
【発行済株式総数】	5,285,600株
【決算期】	9月
【代表者】	代表取締役社長 林田 喜一郎
【連結従業員数】	4,911名（うち、パート・アルバイト 4,494名）（2014年9月30日現在）

連結業績（PL）

■ 前期との比較

（単位：百万円）

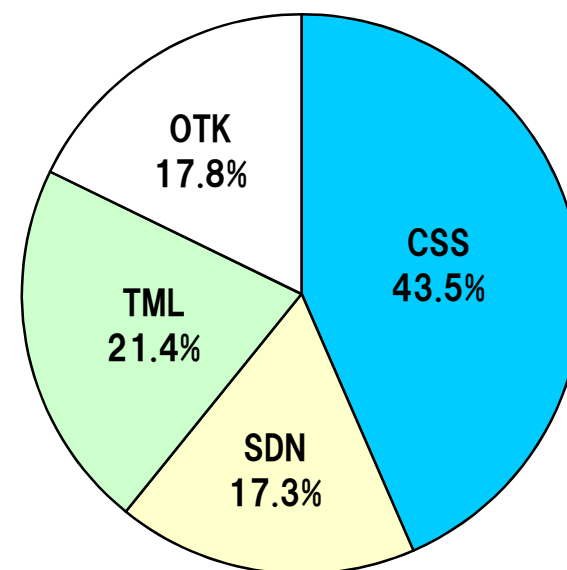
	13年9月期	14年9月期	差異
売上高	12,326	12,557	231
営業利益	196	191	△ 4
経常利益	108	211	102
当期純利益	113	169	55
1株あたり当期純利益（円）	22.59	33.67	11.08

■ 計画との比較

（単位：百万円）

	13年9月期		差異
	計画	実績	
売上高	13,041	12,557	△ 483
営業利益	296	191	△ 104
経常利益	238	211	△ 27
当期純利益	164	169	5
1株あたり当期純利益（円）	32.61	33.67	1.06

事業別売上構成比



連結業績（BS、CF）

■ 連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前期末 13年9月末日現在	当期末 14年9月末日現在	差異
資産合計	5,712	5,704	△ 8
流動資産	3,332	3,341	9
固定資産	2,380	2,362	△ 17
負債合計	3,946	3,774	△ 171
流動負債	2,687	2,731	43
固定負債	1,259	1,043	△ 215
純資産合計	1,765	1,929	163
株主資本	1,711	1,855	144
評価・換算差額等	54	73	18
負債・純資産合計	5,712	5,704	△ 8

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	13年9月期	14年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	168	355
投資活動によるキャッシュ・フロー	198	158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,398	△ 342
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,030	172
現金及び現金同等物の期首残高	1,948	917
現金及び現金同等物の期末残高	917	1,089

資産合計
5,712

現金及び預金
1,300

流動資産

3,332

有形固定資産
1,513

無形固定資産
72

投資その他資産
794

固定資産

2,380

前期末

資産合計
5,704

現金及び預金
1,323

流動資産

3,341

有形固定資産
1,453

無形固定資産
74

投資その他資産
833

固定資産

2,362

当期末

負債・純資産合計
5,712

流動負債
2,687

固定負債
1,259

負債

3,946

株主資本
1,711

純資産

1,765

前期末

負債・純資産合計
5,704

流動負債
2,731

固定負債
1,043

負債

3,774

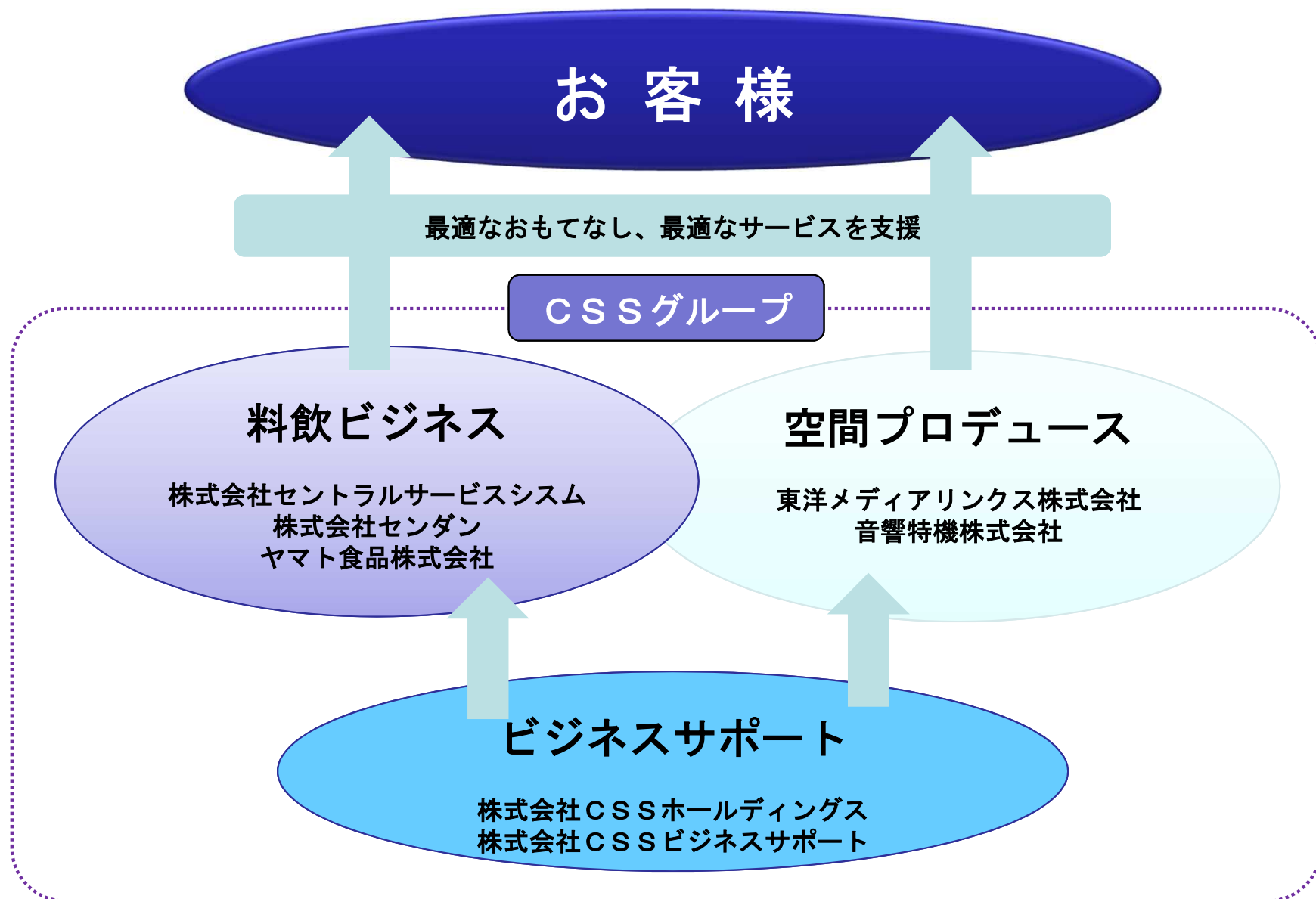
株主資本
1,855

純資産

1,929

当期末

CSSグループの概要



スチュワード管理事業

株式会社セントラルサービスシステム（CSS）

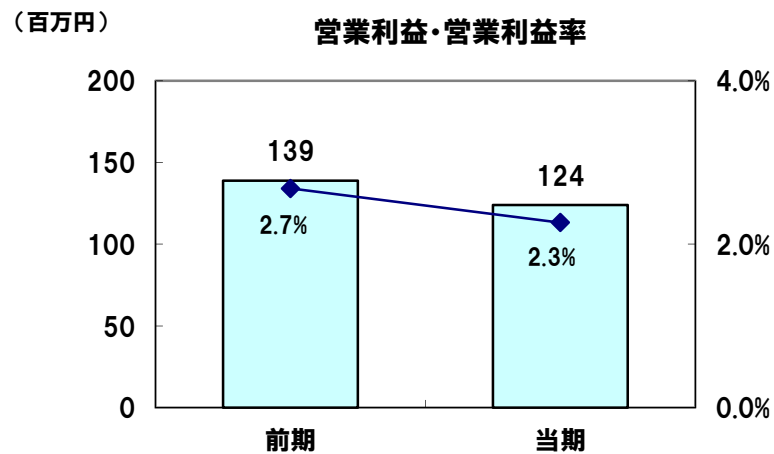
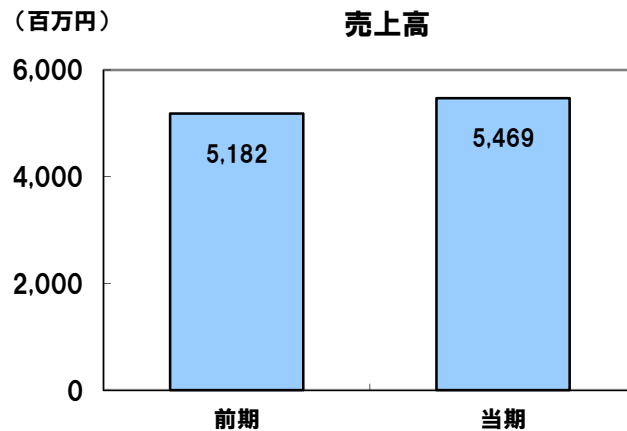
【事業内容】	食器洗浄を中心としたスチュワード管理業務
【主要顧客】	ホテル、レストラン、会館

会社概要

【設立】	2008年4月1日（新設分割により設立）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 三瓶 秀男
【従業員数】	4,154名〔うち、パートナー(パート・アルバイト) 3,972名〕
【事業所】	全国128事業所（2014年9月30日現在）

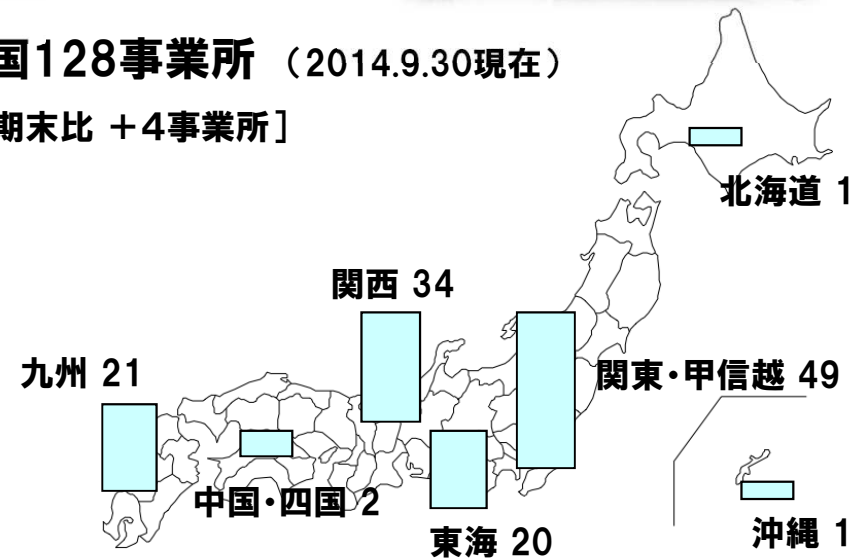
スチュワード管理事業（CSS）

■ 前期との比較



全国128事業所（2014.9.30現在）

〔前期末比 +4事業所〕



総合給食事業

株式会社センダン（SDN）

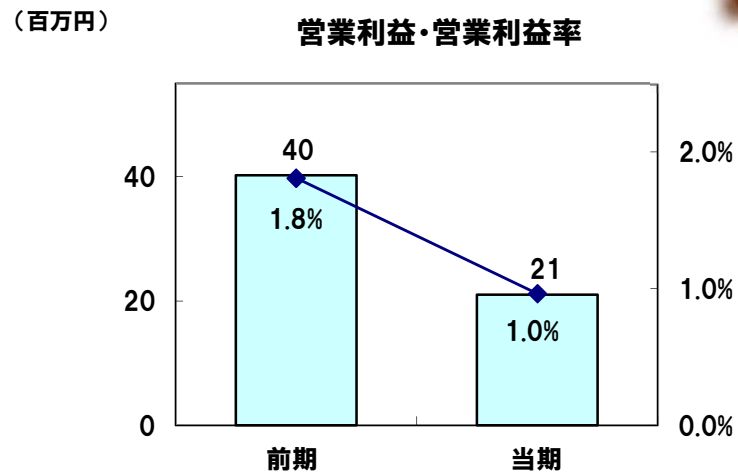
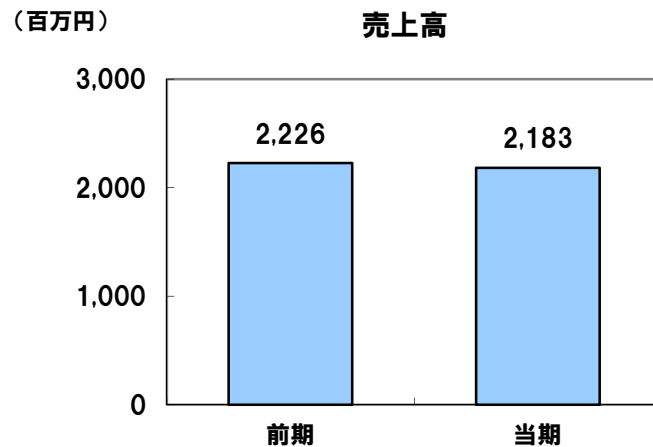
【事業内容】	従業員食堂、レストランの運営およびフードサービス全般
【主要顧客】	ホテル、一般企業、学校、病院、介護施設

会社概要

【設立】	1997年1月（02年12月 連結子会社化）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 磯邊 和彦
【従業員数】	621名〔うち、パートナー（パート・アルバイト）515名〕
【事業所】	全国80事業所（2014年9月30日現在）

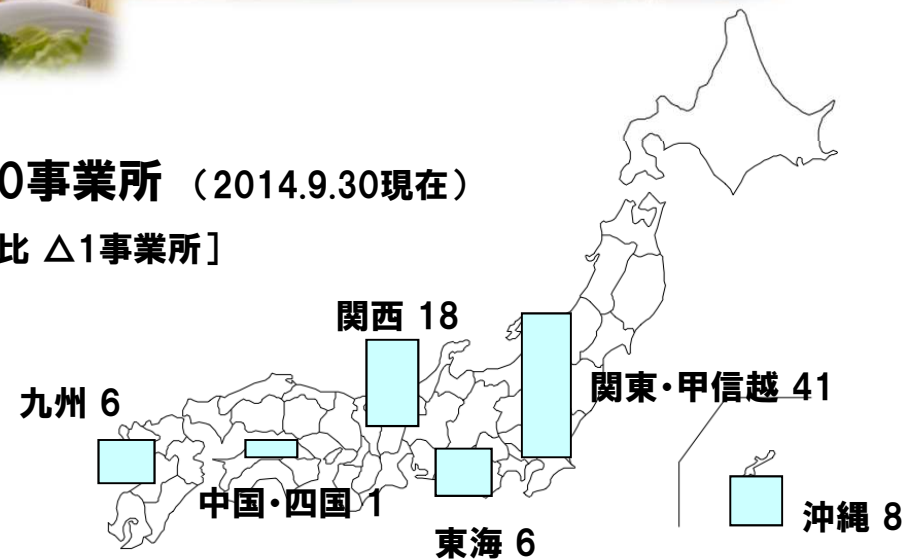
総合給食事業（SDN）

■ 前期との比較



全国80事業所（2014.9.30現在）

[前期末比 △1事業所]



映像・音響機器等販売施工事業

東洋メディアリンクス株式会社（TML）

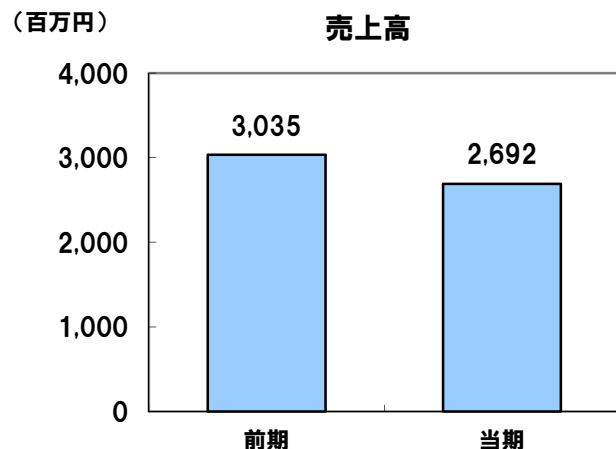
【事業内容】	BGMのパイオニア企業としての音楽関連業務 セキュリティシステム、映像・音響システムの設計施工業務
【主要顧客】	金融機関、商業施設、ホテル、公共施設

会社概要

【設立】	1962年8月（06年4月 連結子会社化）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 森永 洋一郎
【従業員数】	75名

映像・音響機器等販売施工事業（TML）

■ 前期との比較



セキュリティカメラ設備



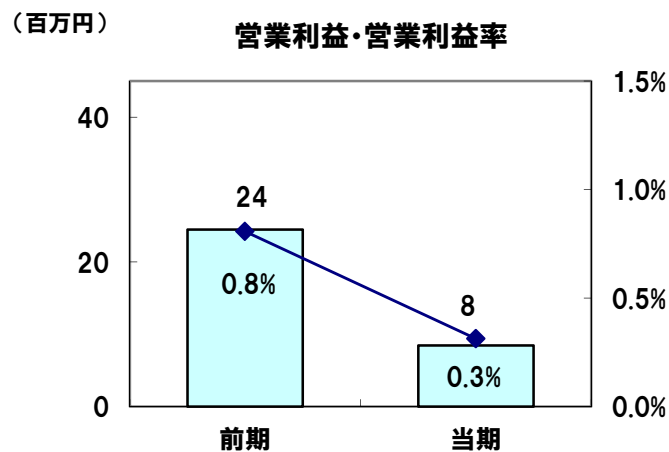
Scent Wave(香り)



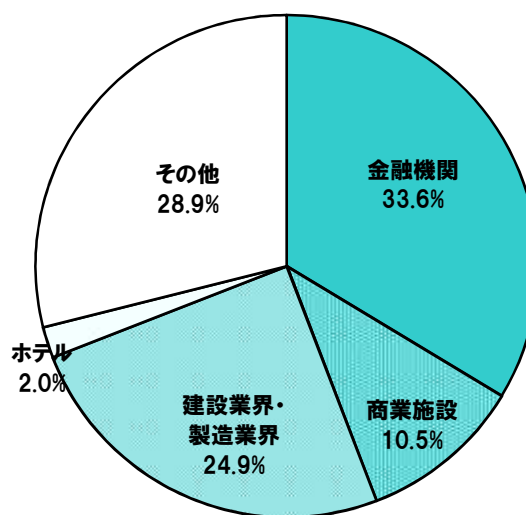
エムズスピーカー



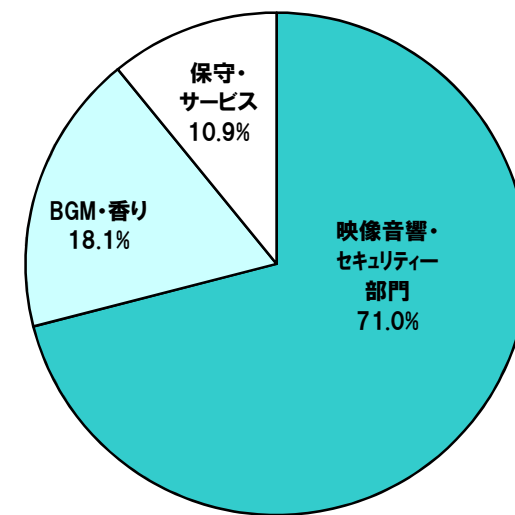
デジタルサイネージ



顧客別売上構成比



商品別売上構成比



音響・放送機器等販売事業

音響特機株式会社（OTK）

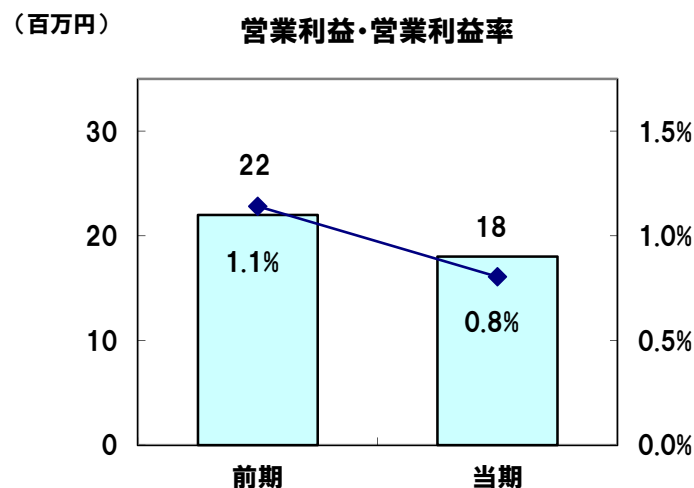
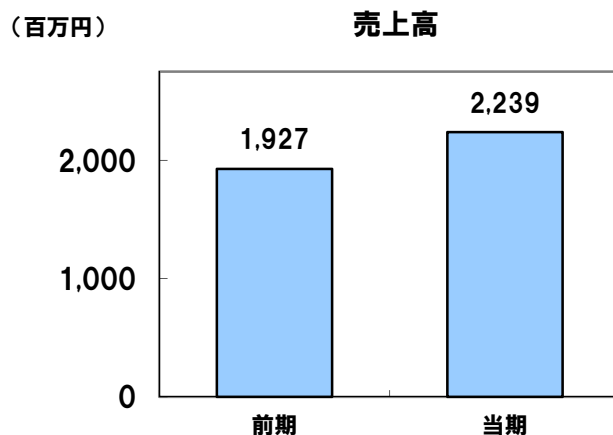
【事業内容】	大型スピーカーやアンプなど、プロフェッショナル向け 音響機器の輸入・販売
【主要顧客】	音響設備会社、劇場・ホール、ホテル、放送局

会社概要

【設立】	1979年8月（06年4月 連結子会社化）
【資本金】	100百万円
【代表者】	代表取締役社長 辻 勝太郎
【従業員数】	33名

音響・放送機器等販売事業（OTK）

■ 前期との比較



主な取り扱いブランド

<国内ブランド>

- | | | |
|-------|----------|---------|
| ■ ヤマハ | ■ ティアック | ■ ローランド |
| ■ カナレ | ■ パナソニック | ■ TOA |

<海外ブランド>

- | | | |
|------------------|----|------------------|
| ■ EAW (90.4月) | 米国 | スピーカー |
| ■ BIAMP (04.11月) | 米国 | オーディオ用シグナルプロセッサ |
| ■ QSC (08.3月) | 米国 | パワーアンプ、スピーカーシステム |
| ■ Cloud (08.8月) | 英国 | ゾーンミキサー |
| ■ MACKIE (09.2月) | 米国 | スピーカー・アンプ |

総務・人事・経理管理事業

株式会社CSSビジネスサポート（CBS）

【事業内容】 グループ会社からの総務・人事・経理業務の受託

会社概要

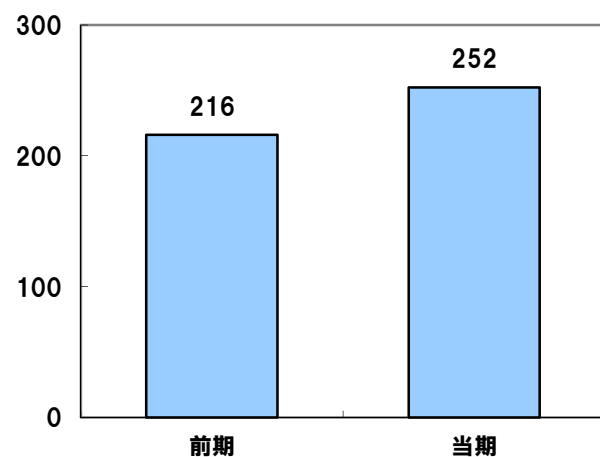
【設立】 2008年4月1日（新設分割により設立）
【資本金】 10百万円
【代表者】 代表取締役社長 川勝 雄介
【従業員数】 16名

総務・人事・経理管理事業（CBS）

■ 前期との比較

（百万円）

販売費及び一般管理費



今後の取り組み

今後の取り組み

～当社グループを取り巻く環境～

- 景気は回復基調にあり、2014年以降、実質GDPは2017年まで、年率平均1.1%の伸び率を見込む。
- 引き続き為替相場は円安基調が続く、株価も右肩上がりが見込まれている。
- 2020年の東京オリンピックの開催が決定、ホテルの業績には好影響が見込まれる。東京都は3兆円の経済効果と15万人の雇用創出を予想している。
- 最低賃金は右肩上がりで見込まれており、今後も引き続き上昇が予想される。
- 日本の少子高齢化は引き続き進行しており、高齢化率(65歳以上の割合)は2010年の23.0%から2013年には25.1%で4人に1人を上回る状況になっている。

CSS

- スチュワード業務のホテルにおける市場規模は推定約260億、現在のマーケットシェアは約21%。
- 2012年度以降、ホテルの市場は拡大基調が予測される。
- 旅館市場は長期的には縮小傾向にあるものの、現在でも370億の規模があり、他社との競合も少ないことから参入機会は多い。
- ホテルからの客室清掃の引き合いは多い。

SDN

- 給食市場全体ではリーマンショックの影響を受け2009年をボトムに回復傾向。
- 業態別では産業給食はボトムのまま、ほぼ横ばいで推移。
- 病院、保育所等は09年以降増加の一途。
- 高齢化社会に対応した給食ニーズが顕在化し市場は拡大傾向。
- 主力市場のホテルで一部レストランのテナント化、業務委託化(朝食)が加速。

TML

- 国内監視カメラ市場364億円、内IPカメラ213億円とIP化加速(2015年予測値)⇒監視から映像検索エンジンへ。
- 業務用AV(表示系)は、デジタルサイネージ・プロジェクションマッピング等ソフトコンテンツとの提案拡大。
- 競争入札増加(競争激化・収益減少)、同業の弱電施工会社との競合からIT会社との競合へ。
- BGM国内顧客90万件、異業種からの参入・iPad、スマホ活用のモバイルネット配信業者も新規参入。
- 香りは、ホテル・パラー等を中心に需要拡大、香りによるブランディング市場も拡大。

OTK

- 市場規模約350億円。
- 国内電気メーカーの市場撤退⇒音響「システム」設計、提案、取り扱い者のニッチ化増大。
- ネットワークオーディオ市場の拡大。
- DSP(デジタル・シグナル・プロセッサー)の需要拡大。
- 商品単体需要から音響システムとしてのニーズ変化。

今後の取り組み

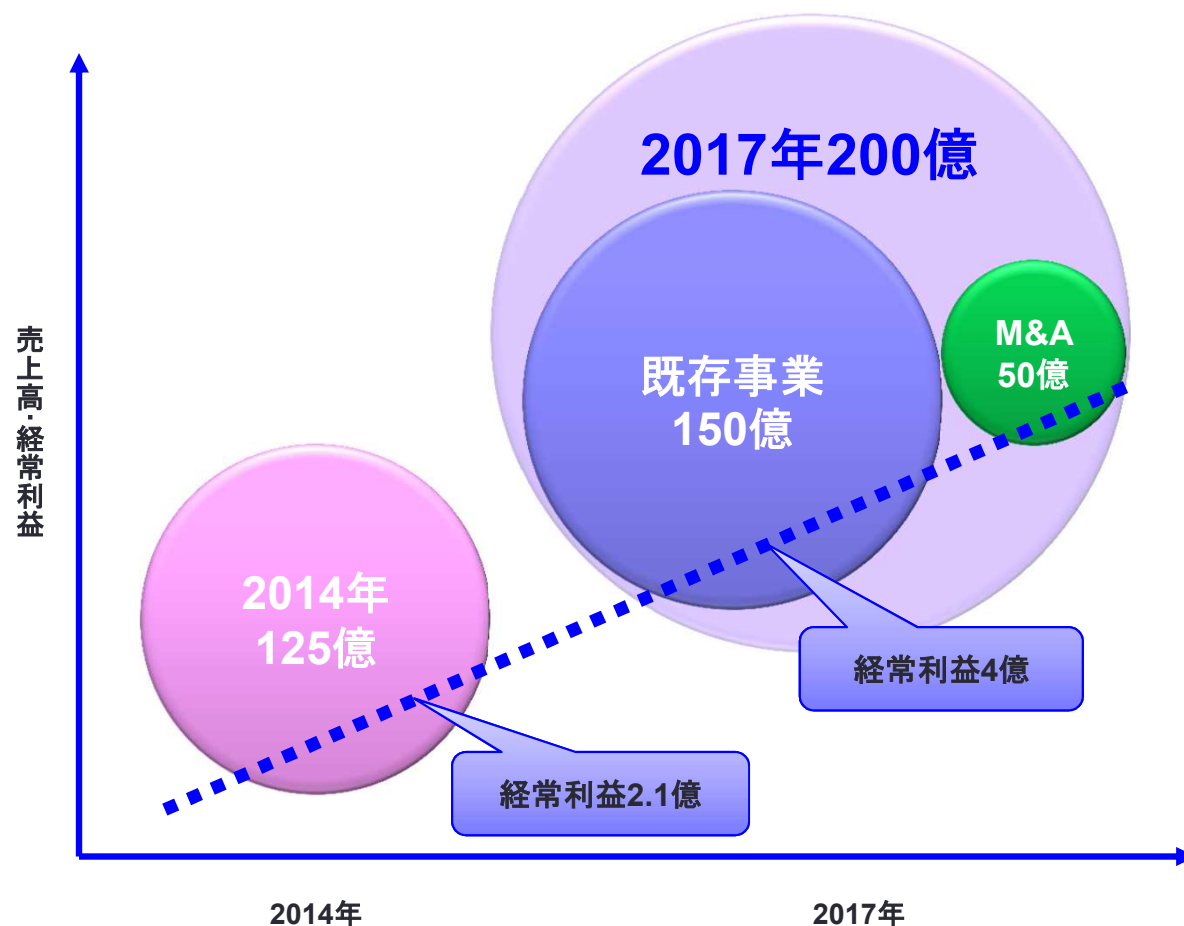
～グループとして目指すもの～

【売上規模】

2014年度の売上約125億円に対し、年率約5.0%の拡大を図り、当該計画最終年度の2017年度においては、既存事業で売上を約150億円とする。
また、3年間で約50億円規模のM&Aを実現させ、既存事業と合わせてグループ全体の売上規模を200億円とする。

【利益率】

2014年度の経常利益約2.1億円、経常利益率1.7%を約2.0%まで拡大し、2017年度においては経常利益4億円を達成する。



今後の取り組み

～連結事業計画～

(単位 百万円)

		FY2015 連結31期	FY2016 連結32期	前年比	FY2017 連結33期	前年比
連結収支	売上高	13,109	13,871	105.8%	14,616	105.4%
	営業費用	12,821	13,544	105.6%	14,271	105.4%
	営業利益	288	327	113.7%	344	105.2%
	経常利益	252	292	116.1%	310	106.2%
	経常利益率	1.9%	2.1%	—	2.1%	—
	当期純利益	164	190	116.1%	202	106.2%
		FY2015 連結31期	FY2016 連結32期	前年比	FY2017 連結33期	前年比
売上高	CSS	5,830	6,180	106.0%	6,500	105.2%
	SDN	2,271	2,383	104.9%	2,508	105.2%
	TML	2,900	3,100	106.9%	3,300	106.5%
	OTK	2,150	2,250	104.7%	2,350	104.4%
	CBS	267	267	100.0%	267	100.0%
	HLD	510	536	105.1%	550	102.6%
	消去	-819	-844	—	-858	—
	合計連結	13,109	13,871	105.8%	14,616	105.4%
営業費用	CSS	5,645	5,987	106.1%	6,306	105.3%
	SDN	2,257	2,353	104.3%	2,462	104.6%
	TML	2,850	3,040	106.7%	3,230	106.3%
	OTK	2,115	2,212	104.6%	2,309	104.4%
	CBS	263	268	101.7%	273	101.8%
	HLD	412	405	98.3%	413	101.9%
	消去	-722	-722	—	-722	—
	合計連結	12,821	13,544	105.6%	14,271	105.4%
営業利益	連結営業利益	288	327	113.7%	344	105.2%
経常利益	連結経常利益	252	292	116.1%	310	106.2%

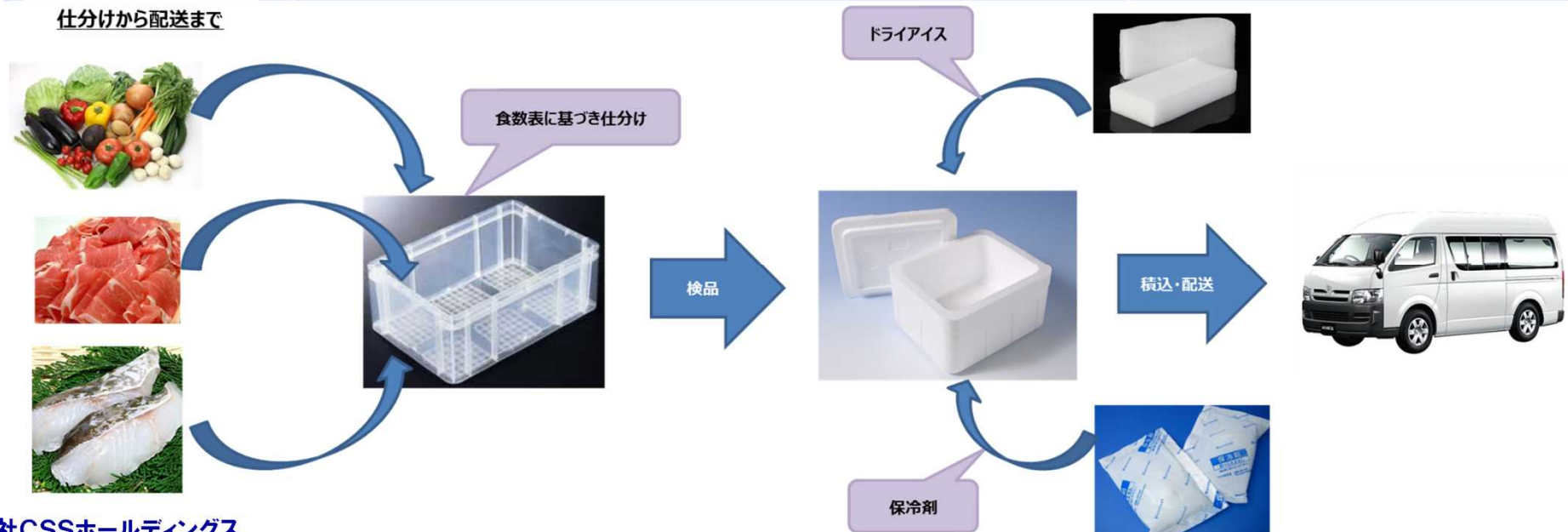
今後の取り組み

～戦略の基軸と到達目標～



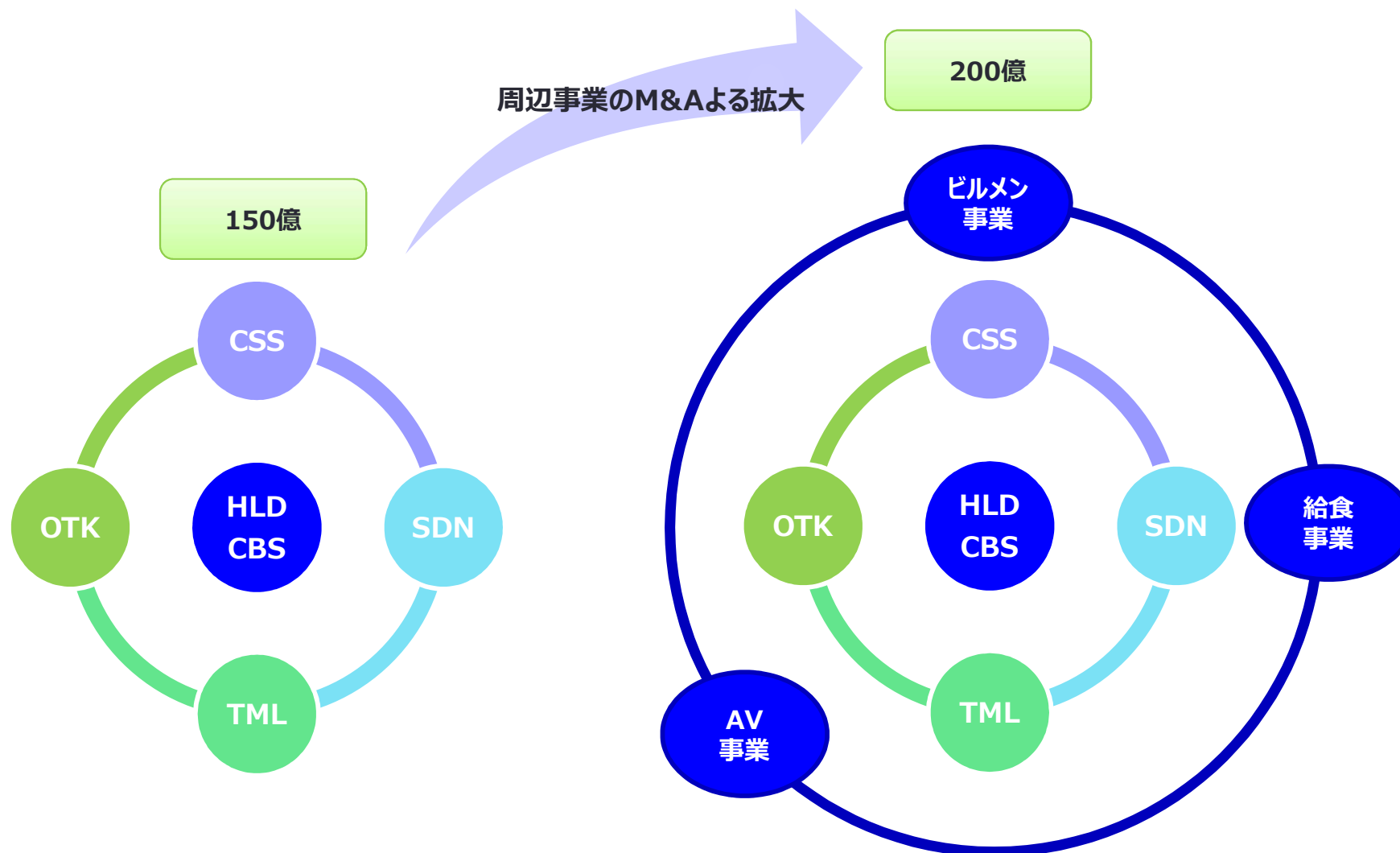
ヤマト食品株式会社(YMT)

項 目	内 容	備 考
商号	ヤマト食品株式会社	グループ会社: 綜合食産(株) (株)日本給食
本社所在地	神奈川県大和市上和田102-1	
事業内容	総合食品販売(献立付食材販売)、給食の受託業務	
主要販売先	高齢者福祉施設、ゼネコン建築現場、寮・社宅	
設立年月日	昭和51年7月29日	設立38年
資本金	3,500万円	
代表者	岩見 元志	
従業員数	社員318名、パート272名 合計590名	グループ3社合計
売上規模	3,400百万円	
営業所	大和、横浜、厚木、川崎、多摩、千葉、埼玉、三郷、名古屋	



今後の取り組み ~M&A戦略~

- HLDとCBSは一体となってグループ管理機能を充実させ、既存事業会社4社が相互に結束し、HLD・CBSへ求心力を高めると共に、既存6社をグループの中核として、同心円上に周辺事業をM&Aにより拡大していく。
- 本計画期間中3年間で50億規模のM&Aに取り組むことで、グループ売上規模200億を目指す。
- 案件の探索については、持込み案件に頼るだけでなく、能動的な動きによる案件の組成を進める。
- M&Aの手法については、買収に限らず、案件に応じた多角的手法を検討する。



本資料についてのご注意

本資料は参考資料であり、正確な決算数値等は当社決算短信および有価証券報告書をご参照願います。
また、本資料に記載の業績に関する見通しや計画等には、不確定要因を含んでおります。
実際の業績などは、当社の事業を取り巻く経済情勢等の様々な要素により異なる可能性があることをご承知おき願います。

IRに関するお問い合わせ
株式会社CSSホールディングス グループ経営管理室
TEL 03-6661-7840 / FAX 03-6661-7841
e-mail info@css-ltd.co.jp

連結ファクトシート

	10年9月期	11年9月期	12年9月期	13年9月期	14年9月期
1株あたり純資産額 (円)	309.93	308.23	320.75	350.02	382.43
1株あたり当期純利益金額 (円)	5.19	1.47	11.04	22.59	33.67
自己資本比率 (%)	24.6%	26.0%	23.4%	30.9%	33.8%
自己資本利益率 (%)	1.7%	0.5%	3.4%	6.5%	8.8%
総資産経常利益率 (%)	2.3%	1.3%	1.3%	1.9%	3.7%
総売上経常利益率 (%)	1.2%	0.7%	0.7%	0.9%	1.7%

(注)

当社は、平成25年10月1日付で、株式1株につき100株の株式分割を行っております。当該株式分割については、第26期の期首に株分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。